

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名 (Road Management Business), 事業区分 (Business Division), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy System), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overview of Business) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (Business Content/Methods/Procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intent), and ④-⑥各指標 (Indices) with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (personnel) and investment amount (costs) for 29, 30, 01 years, including a section for 期間限定総投入量 (Limited Total Investment).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Business Costs) comparing 30年度実績 (30th year actual) and 01年度事業費予算 (01st year budget).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, and 03 years, including a note about recording content by fiscal year and a list of main business items.

事務事業名	道路管理事務業務	事務事業No.	50302000964	所属課	建設課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

一般交通の安全確保と沿道環境の維持を目的とし道路管理者が行う維持管理業務として開始された。財政事情の悪化により、全ての要望への対応は困難であり、今後、計画的な改築や修繕を行う場合に緊急度や重要度を加味した選択が必要となる。平成23年の震災の影響により、以前に比べ道路補修、改修の陳情・要望件数が増えている。家の建て替えも急激に増加しているため、市道境界確認申請、道路占用許可申請も多くなっている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

各地区の区長から、補修・改修の陳情・要望が絶えない。道路は地域の社会・経済活動と住民の生活を支える基盤であり、複雑化・多様化する社会情勢において、市民が安全で快適な暮らしを確保していくために、多様化・高度化する道路使用の要望に対し、個々適切な対応を行うことが求められている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	道路境界確認や道路法24条申請業務などの業務を行う事によって、市道の適切な管理が図れるため。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市道の道路管理者として、道路を適切に管理するため行わなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	今までも申請に対して厳正に審査を行って、業務を処理しているため、向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市道の適切な管理が図れなくなるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業が無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	当該業務に要する職員の人件費のみであり、業務量的には適切である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	不特定多数の方が利用する公共施設であるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	道路は地域の社会・経済活動と住民の生活を支える基盤である。複雑化・多様化・高度化する道路使用の要望に対し、個々適切な対応をし、道路法及びその他法令に基づいた、道路が適切に使用され、円滑な通行が確保されるよう業務を遂行している。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑤																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>